

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 116	提案機関名 水産課
要望問題名 相模湾に設置されている浮魚礁の利用状況と効果について	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 相模湾内には現在、表層型浮魚礁1基と浮沈式浮魚礁4基の計5基の浮魚礁が設置されている。これらの浮魚礁は回遊性魚類の滞留を促して漁場の造成を行うことを目的として設置されている。また水温や海流の観測も行うことで海洋観測においても重要な役割を担っている。これら5基の浮魚礁について、漁業者等による利用状況の把握と効果についての調査を行い、本県が行った浮魚礁漁場整備の評価をおこなっていただくことを要望する。	
解決希望年限	1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	農業技術センター 畜産技術所 <input type="checkbox"/> 水産技術センター 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画資源部
対応区分	実施 実施中 <input type="checkbox"/> 継続検討 実施済 調査指導対応 現地対応 実施不可		
試験研究課題名 (、 、 の場合)			
対応の内容等 浮魚礁の効果調査の必要性は、当センターとしても認識しているところです。しかし、浮魚礁周辺における漁場形成は、主対象であるマグロ類では魚礁周辺数マイルに形成され、また、表層だけではなく水深数十mにも魚群がいると言われています。 これらの魚群の蛸集状況を把握するためには、既存事業の中で調査を実施するのは困難なため、新たな予算措置が必要となります。調査予算の確保に目処がつかましたら対応したと考えます。			
解決予定年限	1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内		
備考			